

令和3年度 東御市まち・ひと・しごと 創生総合戦略 KPI実績

「◎」…順調(実績が目標値の100%以上) 「○」…概ね順調(実績が目標値の99%~75%)
 「△」…やや遅れている(実績が目標値の74%~50%) 「×」…遅れている(実績が目標値の49%以下)
 「―」…現段階では実績が表せないもの

基本目標	基本施策等	KPI	担当課	年度別目標/実績【上段:目標、下段:実績】					2021達成状況	単年度目標が未達成の場合は理由を付記し、今後の展開について記載すること	進捗率	進捗状況	担当課所見・進捗が遅れている理由・今後の展開
				2020	2021	2022	2023	2024					
基本目標Ⅰ どうみーにおいて安定した雇用を創出する	基本目標Ⅰ 数値目標	市内就業者数 【国勢調査より】 基準:15,317人(2015年) 目標:15,000人(2025年)	商工観光課	15,254人	15,190人	15,127人	15,063人	15,000人	○	新規就業者の増加と団塊世代の退職の減少が釣り合っており、また、新型コロナウイルスの影響による失業者の増加等も要因であると考えられます。	96.2%	○	信州上田地域企業ガイドブックへの積極的参加による企業の周知に努める。
		市内20~30歳の就業割合 【国勢調査から算出】 基準:30.06%(2015年) 目標:現状維持(2025年)	商工観光課	30.06%	30.06%	30.06%	30.06%	30.06%	○	20~30歳代全ての就業者が全体的に減少しており、少子高齢化の影響が大きいと考えられます。	90.7%	○	東信州次世代産業振興協議会と連携し、企業による積極的参加の呼びかけを強化する。
		製造品出荷額等に対する粗付加価値額 【工業統計調査より】 基準:506億9,505万円(2018年) 目標:512億(2024年)	商工観光課	507億9604万円	508億9703万円	509億9802万円	510億9901万円	512億0000万円	○	2019~2020速報値 製造業全体としては、対前年107.36%で、コロナ禍にあっても、業績は回復基調と考えられます。 部門別では、「電子部品・デバイス・電子回路製造業」の業績が良く、235.04%、「輸送用機械器具製造業」が121.23%でありました。 半面、「食品製造業」が82.4%、「生産用機械器具製造業」が82.7%と、伸び悩んだものとなりました。	77.0%	○	
		製造業従事者数 【工業統計調査より】 基準:3,466人(2017年) 目標:現状維持(2024年)	商工観光課	3,466人	3,466人	3,466人	3,466人	3,466人	○		99.3%	○	
		20~39歳の社会増減数 【東御市人口ビジョン参考】 基準:+9人(2018年) 目標:+9人	企画振興課	9人	9人	9人	9人	9人	×		0.0%	×	昨年度不調に終わった移住体験施設の拠点整備を早期に行い、移住希望者の受け入れ態勢を整える。
		起業件数 (県・市制度資金活用件数/累計) 【東御市商工観光課集計より】 基準:1件(2019年) 目標:毎年+5件、累計25件(2024年)	商工観光課	5件	10件	15件	20件	25件	◎		150.0%	◎	
		ビジネスサポート窓口での支援件数 (累計) 【東御市商工観光課集計より】 基準:0件(2019年) 目標:毎年+12件、累計60件(2024年)	商工観光課	12件	24件	36件	48件	60件	◎		100.0%	◎	上田信用組合との包括連携により、キャリアバンクを組織し、企業の相談に対し関係者で解決に向けた取り組みがされている。
		官民連携により新たに創出された事業数 (累計) 【東御市企画振興課集計】 0事業(2019年)⇒3事業(2024年) 累計3事業(2024年)	企画振興課	0事業	1事業	1事業	2事業	3事業	◎	建設課において、令和4年3月に長野県宅建協会、全日本不動産協会と協定を結び、市有宅地の販売を共同で行う事業が創出された。	100.0%	◎	引き続き、全庁にわたって事業の発掘や民間事業者の意向を広く受け付けていく。
		市内事業者電子商取引(EC)実施事業所数 (ECセミナーを通じて)(累計) 【東御市企画振興課集計】 基準:0事業所(2019年) 目標:毎年+1事業 累計5事業所(2024年)	企画振興課	1事業	2事業	3事業	4事業	5事業	◎	2021~2023年度に国の支援制度を活用し、事業者の支援を強化している。 【市公式オンラインショップ申込数】2021:11事業者、累計17事業者	850.0%	◎	
		GAP認定取得経営体数(累計) 【東御市農業振興計画】 基準:2経営体(2017年) 目標:5経営体(2024年) 累計5経営体(2024年)	農林課	2経営体	2経営体	3経営体	4経営体	5経営体	◎		100.0%	◎	
基本目標Ⅱ どうみーへの新しいひとの流れをつくる	地域ブランドの振興と関連産業の育成	市内ワイナリー出荷額 【東御市6次産業化推進室集計】 基準:210,000千円(2019年) 目標:245,000千円(2024年)	6次産業化推進室	217,000千円	224,000千円	231,000千円	238,000千円	245,000千円	◎		128.0%	◎	
		市内ワイン生産本数 【東御市6次産業化推進計画】 基準:133,000本(2019年) 目標:150,000本(2024年)	6次産業化推進室	136,400本	139,800本	143,200本	146,600本	150,000本	○	2021年4月に発生した凍害などの気象災害の影響により、ぶどうの生産量が減少したことが主な要因。	94.8%	○	
		市内ワイナリー出荷額 【東御市6次産業化推進室集計】 基準:235,690千円(2019年) 目標:286,778千円(2024年)	6次産業化推進室	235,690千円	286,778千円				◎				
基本目標Ⅱ どうみーへの新しいひとの流れをつくる	観光振興による交流人口の創出・拡大	潜在人口率 【RESAS】 基準:0.94(2019年1月) 目標:1.07(2024年)	商工観光課	0.97	0.99	1.02	1.04	1.07	○		94.8%	○	新たな人流の創出に向けた興味深い観光コンテンツの構築が必要。 基準値:2019.1月 国勢調査人口(15歳以上80歳未満)23,161人(2015年) R3年度:2021.1月 国勢調査人口(15歳以上80歳未満)23,531人(2020年)
		社会増減数 【東御市人口ビジョン】 基準:△34人(2018年) 目標:75人(2024年)	企画振興課	△12人	10人	31人	53人	75人	×	当市も含め、県内の大部分の市町村(19市21町32村)で人口減少(転入者数-転出者数+その他増減数)が進んでいる。	0.0%	×	
		ふるさと納税者数 【東御市企画振興課集計】 基準:8,549人(件)(2018年) 目標:23,000人(件)(2024年)	企画振興課	11,439人	14,329人	17,220人	20,110人	23,000人	◎	2020年度の27,064人と比較して大きく減少した。主要な返礼品である生食ぶどうの在庫数が減少するとともに、全国の各自治体の取組強化による寄付者の分散があったと検証している。	125.3%	◎	
		観光消費額(暦年) 【(一社)信州とうみ観光協会(観光マーケティング調査)】 基準:46.2億円(2017年) 目標:50.5億円(2024年)	商工観光課	47.1億円	47.9億円	48.8億円	49.6億円	50.5億円	○	新型コロナウイルスの影響から調査数も少なかった満足度調査等のマーケティングを改めて強化し、的確なニーズ把握による効果的な集客、観光コンテンツの提供を図る。	74.9%	○	滞在時間の延伸、宿泊を兼ねた観光コンテンツ(各種ツアー)の充実を図り消費額の増加に努めたい。
		観光入込客数(暦年):湯の丸高原、海野宿、芸術むら公園 【東御市商工観光課(長野県観光地利用者調査)】 基準:886,200人(2018年) 目標:940,500人(2024年)	商工観光課	897,060人	907,920人	918,780人	929,640人	940,500人	×	新型コロナウイルスの影響及び海野宿の閉鎖により、特に海野宿への入込客数は激減したことが大きな要因である。開通後のR4以降は積極的な情報発信、集客イベントで賑わい創出を図る。	43.7%	×	湯の丸高原の更なる魅力及び海野宿の復興について広く情報発信を行い、新たな観光集客メニューの構築を図りたい。
		体験型プログラム利用者数 【東御市商工観光課集計】 基準:51人(2018年) 目標:2,400人(2024年)	商工観光課	521人	991人	1,460人	1,930人	2,400人	△	新型コロナウイルスの影響から積極的な集客はできなかったが、対策を講じてwithコロナでのプログラム提供を充実させたい。	57.7%	△	新型コロナウイルスの影響から進捗が遅れているが昨年の目標値と比較するば達成の状態まで回復している。新たなコンテンツの構築から提供までを強化したい。
		リピーター率(暦年) 【(一社)信州とうみ観光協会(観光マーケティング調査)】 基準:46.7%(2017年) 目標:50.2%(2024年)	商工観光課	47.4%	48.1%	48.8%	49.5%	50.2%	◎		139.1%	◎	とうみファンクラブ、インスタ等のSNSを中心とした魅力発信をより強化し、魅力なる観光地として忘れられない仕掛けを工夫したい。
		湯の丸高原スポーツ交流施設利用者の市内宿泊者数 【東御市文化スポーツ振興課集計】 基準:5,200泊(2018年) 目標:16,000泊(2024年) R3.3回まち番で目標を毎年16,000泊にする。	文化スポーツ振興課	7,360泊	16,000泊	16,000泊	16,000泊	16,000泊	△	コロナ禍における第6波及びまん延防止措置の影響によるキャンセルもあり目標に至らなかった。	74.7%	△	
		湯の丸ファンクラブ会員数(累計) 【東御市企画振興課集計】 基準:0人(2019年) 目標:2,500人(2024年) 毎年500人増 累計2,500人(2024年)	企画振興課	500人	1,000人	1,500人	2,000人	2,500人	-		0.0%	-	令和3年度に開設した市公式ファンクラブサイトの会員数へ変更したい。

基本目標	基本施策等	KPI	担当課	年度別目標／実績【上段:目標、下段:実績】					2021達成状況	単年度目標が未達成の場合は理由を付記し、今後の展開について記載すること	進捗率	進捗状況	担当課所見・進捗が遅れている理由・今後の展開		
				2020	2021	2022	2023	2024							
	東御市への移住・定住の促進	県外からの転入者数(累計)(暦年) 【東御市市民課集計】 基準:379人(2018年) 目標:2,200人(2024年) 毎年+440人 累計2,200人(2024年)	企画振興課	440人	880人	1,320人	1,760人	2,200人	△	当市も含め、県内の大部分の市町村(19市21町32村)で人口減少(転入者数-転出者数+その他増減)が進んでいる。	73.6%	△			
		空き家バンクの契約件数(累計) 【東御市企画振興課集計】 13件(2018年)⇒65件(2024年) 毎年+13件 累計65件(2024年)	企画振興課	13件	26件	39件	52件	65件	◎		119.2%	◎		調査中の物件について、空き家相談を行い、空き家バンク登録につなげる。	
基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	基本目標Ⅲ 数値目標	合計特殊出生率 【東御市人口ビジョン】 基準:1.69(2018年) 目標:1.71(2024年)	健康保健課	1.69	1.70	1.70	1.71	1.71	○	出生数の減少による。	81.9%	○	不妊治療補助金制度を引き続き継続する。		
		18歳未満の子どもを育てている世帯数 【東御市市民課集計】 基準:2,663世帯(2019年) 目標:現状値以上(2024年)	子育て支援課	2,663世帯	2,663世帯	2,663世帯	2,663世帯	2,663世帯	○		97.1%	○			
	出合いの場の創出	増婚件数 【東御市の統計】 基準:122件(2018年) 目標:125件(2024年)	子育て支援課	123件	123件	124件	124件	125件	○		令和2年度からは上田地域定住自立圏で婚活のイベントを開催した。今後も結婚支援体制の連携強化を図るため、上田地域定住自立圏でイベントを開催する。	94.2%	○		
		子育て支援センター事業の利用者数(延べ人数) 【東御市子育て支援課集計】 基準:17,857人(2018年) 目標:18,150人(2024年)	子育て支援課	17,916人	17,974人	18,033人	18,091人	18,150人	△			55.5%	△		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子育て支援センターを休館した時期や、再開後も密をさけるため受け入れ親子数の制限をしているため、利用者数が減少した。
	出産・子育て支援の充実	25～44歳の女性の就業率 【国勢調査・RESAS】 基準:73.8%(2015年) 目標:78%(2024年)	子育て支援課	74.6%	75.5%	76.3%	77.2%	78.0%	○		就業を希望する子育て中の女性を対象に、就労に関する様々な不安や相談に対応し、安心して就職活動ができるよう引き続き支援する。	91.0%	○		
		「女性のための就労相談会」相談者数 【東御市子育て支援課集計】 基準:23人(2018年) 目標:40人(2024年)	子育て支援課	26人	30人	33人	37人	40人	×			20.1%	×		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、就労相談事業が中止になることもあり、相談者数が減少した。今後、子育て支援センターでの相談に限らず、コワーキングスペース「えべや」との連携により相談者を増やす。
		妊産婦相談訪問実施率 【東御市健康づくり計画 後期計画】 基準:93%(2018年) 目標:95%以上(2024年)	健康保健課	93.4%	93.8%	94.2%	94.6%	95.0%	○			95.9%	○		リモートによる相談を含め、妊産婦への接触の機会を確保する。
		子育てについて相談できる友人や場が無いと感じる親の割合(乳児家庭全戸訪問時間診) 【東御市健康づくり計画 後期計画】 基準:4.9%(2018年) 目標:4.5%未満(2024年)	健康保健課	4.8%	4.7%	4.7%	4.6%	4.5%	○			97.0%	○		妊娠期からの切れ目ない支援を行い相談しやすい体制を継続する。
	基本目標Ⅳ 数値目標	東御市に対する評価(住みよさランキング) 【東洋経済 都市データバック】 基準:223位(2019年) 目標:223位以上(2024年)	企画振興課	223位	223位	223位	223位	223位	×		目標値には達していないが、昨年度(413位)から順位は向上している。4つの指標のうち安心度(交通事故者数、刑法犯認知件数)の上昇がみられる。	68.2%	×		
			東御市は住みよいと感じる市民の割合 【東御市まちづくりアンケート】 基準:80.0%(2018年) 目標:85%(2024年)	企画振興課	81.0%	82.0%	83.0%	84.0%	85.0%			-	0.0%		-
地域づくり協議会が主催する地域づくり活動への参加者数 【東御市地域づくり支援室集計】 基準:445人(2018年) 目標:670人(2024年)		地域づくり支援室	490人	535人	580人	625人	670人	△	コロナ禍における第6波及びまん延防止措置の影響による活動中止により目標に至らなかった。	57.4%	△				
		地域づくり組織に占める若者世代(20～40代)の割合 【東御市地域づくり支援室集計】 基準:30%(2018年) 目標:50%(2024年)	地域づくり支援室	34.0%	38.0%	42.0%	46.0%	50.0%		○	73.7%		○		
新たな視点で取り組む、安心して暮らせる地域づくり		公共交通乗車人員総数(鉄道・バス・デマンド) 【東御市商工観光課集計】 基準:1,839人/日(2018年度) 目標:現状値維持	商工観光課	1,839人/日	1,839人/日	1,839人/日	1,839人/日	1,839人/日	○	定時定路線バスの補津線については、スクールバス利用の乗車人員数はカウントしていません。デマンドの利用啓発PVを作成し、病院や市民課窓口等で放映しました。	78.4%	○			
		地域で活躍する人材の育成・確保	地域づくり支援室	未実施	52.40%	2022全国平均値	2023全国平均値	2024全国平均値	◎		113.7%	◎			
地域で活躍する人材の育成・確保	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがある児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】 基準:小学生52.9% 中学生38.9%(2018年) 目標:全国平均値以上	地域づくり支援室	未実施	59.60%	2022全国平均値	2023全国平均値	2024全国平均値	○	93.8%	○					
	オフサイトミーティングを活用した事業実施数(累計) 【東御市企画振興課集計】 基準:0件(2019年) 目標:4件(2024年) 累計4件(2024年)	企画振興課	1件	1件	2件	3件	4件	×		0.0%		×	市民まちづくり会議での事業、ファンクラブサイトアンバサダー、ウィキペディアタウンプロジェクトの推進により事業実施を目指す。		
広域連携によるまち・ひと・しごと創生の	千曲川ワインバレー特区内収穫量 【千曲川ワインバレー特区内連絡協議会集計】 基準:259トン(2018年) 目標:389トン(2024年)	6次産業化推進室	285トン	311トン	337トン	363トン	389トン	○	2021年4月に発生した凍害などの気象災害の影響により、ぶどうの生産量が減少したことが主な要因。	76.2%	○				
	高地トレーニングエリアを活用したスポーツ合宿団体数 【東御市文化スポーツ振興課集計】 基準:90団体(2018年) 目標:120団体(2024年)	文化スポーツ振興課	96団体	102団体	108団体	114団体	120団体	◎		159.8%	◎		リピーターに加え、新規団体も増えてきている。今後も新規団体の獲得を図ってきたい。		